

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピーテラス与野		
○保護者評価実施期間	2026年2月17日		～ 2026年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	50	(回答者数) 33人
○従業者評価実施期間	2026年2月23日		～ 2026年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 5人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月11日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育、集団療育ともに職員の目が行き届きやすい配置になっているため様々な場面での成長点や課題を見つけやすく、丁寧なフィードバックが可能なところ。	・ご不安ごとやご相談事に対し、面談やペアレントトレーニングなどその時々合った方法で迅速に対応している。また、要望に応じて学校連携や相談支援事業所との連携も積極的におこなっており、保護者、児童、関係機関それぞれの意向を統一しながら一貫した支援方針がおこなえるよう連携をとっている。 ・朝礼時に座席配置や職員配置、リスク対策について綿密に	保護者、児童の意見はもちろん学校、保育園など関係機関ともさらに連携を深めることで多角的な視点から支援できるようにしていく。
2	トレーニングの充実度、専門性の高い療育を提供している。	・テーマやねらいを明確にした集団トレーニングを日替わりで提供、個別ではお子様の課題に合わせてフルカスタマイズで組み立てている。 ・毎月、全職員でトレーニング案を狙いや目的に合わせて提案し、プログラムを作成している。	保護者や児童からイベントやトレーニングで行いたいことを募り、ご要望にお応えしながらさらに楽しんでご満足頂けるよう努める。また、職員の専門性を最大限に活かしたトレーニングを今後も提供し、それによる効果やねらいも周知することで更なる信頼獲得に努める。
3	朝礼や終礼での情報共有が充実しており、保護者のニーズや子どもの課題について共通理解を図りやすく、子どもの現状に寄り添った支援を行うことができている。	終礼時には、利用者の変化や成長点、課題点、保護者ニーズを共有し、より円滑な情報共有、コミュニケーションを図りながら、柔軟に対応できるよう体制を整えている。	提供記録やSNSを通じて写真を公開することでさらに通われている方にも今後通いたいと考えている方にも、どんな療育をどんなねらいを持って取り組んでいるのかわかりやすくしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別療育を実施中、集団療育利用の子どもがクールダウンできる個室の確保が難しい。	事業所内の物理的スペースが限られていることに加え、事務室の活用も検討しているが、物品が多く安全面への配慮が必要な状況となっている。	教室内のレイアウトや使用スペースの見直しを行い、状況に応じてパーテーション等を活用するなど、落ち着いて過ごせるスペースの確保に努めていく。また、安全面に配慮しながら事務室の環境整理も進め、クールダウンスペースとして活用できる可能性について検討していく。
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会が少ない。	積極的な交流を望まれない保護者の方もおり、直接の交流の機会を作れていない。	保護者アンケート等を通してニーズを確認しながら、外出活動等の機会を設け、公共の場でのルールや社会的なマナーを実践的に学ぶ機会を設けていく。
3	父母の会や保護者同士の交流の機会が少ない。	開催ニーズの把握が十分ではないことや、保護者の皆様のご都合を踏まえた日程調整の難しさがある。	アンケート等を通して保護者の皆様のニーズを把握し、オンラインや短時間の開催なども含め、参加しやすい形で交流機会を設けられるよう検討する。